

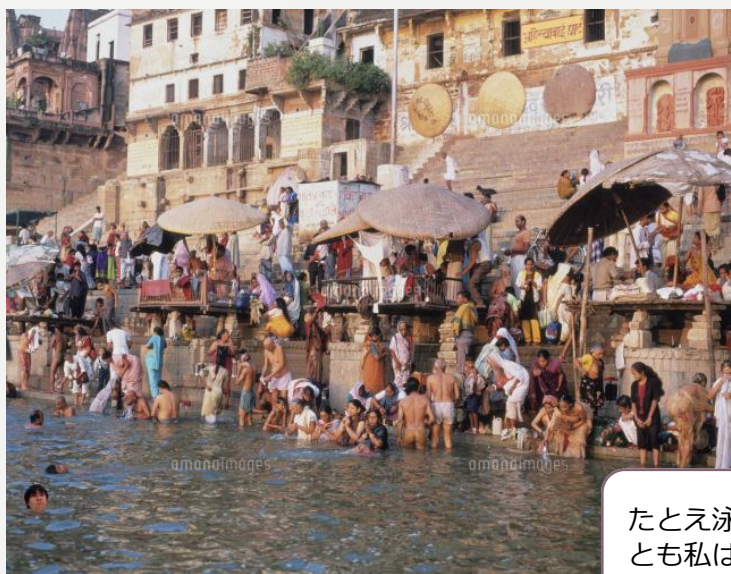
早稲田先輩の インド紀行



これを読めば
インドに行き
たくなるよ。

～インドとボクと社会～

ガンジス川で沐浴した経験のあるラジーブさん。でも泳ぐことはできないらしい。
そもそもインドにはプールがほとんどないんです。警察官でも泳げない人が多いそう。
泳げないと言えば、山口先生も泳げないらしい。インドに行けば恥ずかしくないのにね。



ガンジス川

インド到着初日。建築ボランティアで僕はインドにやってきた。でもとりあえず最初はガンジス川だ。ヒンドゥー教の聖なる川で知られているよね。インドの人たちはここで沐浴するんだ。

(結構汚いんで、日本人は躊躇するかも・・・。)

聖なる川で死者を火葬し、その灰を流すことは死者に対する最大の敬意なんだとか。何と死体があるまま流れてくることがあるらしい...

一緒に働いたインド人のラジーブさんもガンジス川で沐浴したことがあると言っていたよ。

左はラジーブさんにもらった写真だけど、よく見ると樋口先生によく似たインド人が泳いでいるね。

たとえ泳げなくとも私は飛べる。



インドの散髪代は何と
約50円！○ンキュー
カットもびっくりだ！



インダス川

川といえば、**インダス川**も有名です。インド滞在2日目、床屋のサンジープさんに聞いたら、延々30分インダス川の歴史について聞かされたんだ…。しかし、ヒンディー語だから全く分からないという…。

(通訳さんの話)

じつはインダス川といっても河口はパキスタン。パキスタンがインダス川の水の流れを変える運河建設をしたことで、インドからは水の横領として見なされて水路の閉鎖で対抗され、水の所有権をめぐる紛争が起こったこともあるんだって。最近では、インドがダムや運河を建設し、同時期にパキスタンを流れるインダス川の水量が減ると、両国の仲が悪くなることも。インダス水条約ではインドはインダス川の水を利用できないとのこと。

インダス川はイン
ダス文明とともに
覚えよう。 byサンジープ



サンジープさん、
インダス川には
詳しいけど、散
髪技術はまだま
だだな。



モヘンジョ・ダロもこう
やって作られたのだろう
か・・・？



インダス文明

インド滞在3日目。いよいよボランティア活動が本格的に。日中は家の建築のお手伝いです。壁を塗りながら、ふと古代都市モヘンジョ・ダロに思いを寄せる僕...

紀元前2500年ごろインダス川ほとりに発展した**インダス文明**。今のインドの**カースト制度**のもとになる身分制度や、いまだ解読されていない**インダス文字**など、不思議な魅力がいっぱいのインダス文明。その中でもとくに面白いのが古代都市**モヘンジョ・ダロ**...。先住民とアーリア人との間での戦争があった証拠として大量の骸骨が埋まっていた。そのことから「死の丘」などと呼ばれている。しかも見つかった骸骨から通常の50倍以上の放射能が検出されたことなどから核戦争があったのでは？という都市伝説もあるんだ。すばらしい建築技術から現代にも劣らない文明があったのではないかという人もいるんだ。



モヘンジョ早稲田なんていうあだ名も悪くないなあ～。

えっ？冗談言ってる場合じゃないって？写ってる？

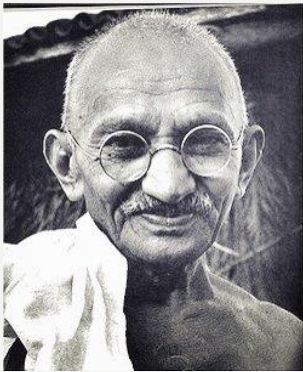
マジで！？・・・
あぁッ！！本当に写ってる！！怖い怖い怖い！！





ガンジー (ガンディー)

インド滞在4日目。日本では友達がいなかった僕にも、インドでは友達ができた。名前はラフル、16歳。僕の尊敬する人物は鑑真なんだけど、彼の尊敬する人物は**ガンジー**。発音が似てるね、ってことで2時間くらい二人で大笑い。



これがガンジー



これは鑑真
(がんじん)



これはヒグ真
(ひぐじん)



この合成はあまりにも
レベルが低い！怒る
ぞ！！



そこに
怒るの！？



人口超大国



インド滞在5日目。この日はボランティア活動も休みで、インドの市場にお出かけ。さすがインド、人がとにかく多い！！休みの日のクレアモールなんて足元にも及ばない。

人口約13億人は現在世界で2番目。**1位の中国が約14億人**なので、もうすぐ追い越して1位になると言われているよ。（中国は一人っ子政策が原因で人口が伸び悩んでいるんだ。）

インドの市場はお店の人が積極的で、とにかく声をかけまわってくる。知らない間に僕も派手な首飾りを買わされていたんだけど似合っているかな？

ちなみにインドは**小麦、米ともに生産量は中国につく世界2位**。それにもかかわらず**中国もインドも輸出量は少ない**んだ。それはなぜか？そう、中国もインドも人口が多いから国内で小麦も米も食べてしまうんだ。輸出するほど余らないということだね。

首飾りを僕に売ってくれたおじさん。僕が首飾りを買った後、店の後ろでガッツポーズをしたのはなぜだろうか・・・？

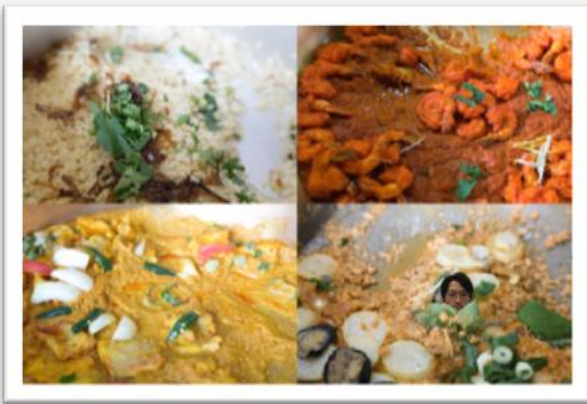
まさかこの首飾りが売れるとは、おじさんも思ってなかったんだろうなあ。おじさん、もうかったね！！



食事



あれ？なんか異様に緊張するぞ？食べるだけなのに怒られる気がするのはなぜだろう・・・？



カレーの本場はインド。でも実はインドのカレーは日本のものとはずいぶん違う。インド人が日本のカレーを食べて「なんだこのおいしい食べ物はい！？」と驚いたなんていう笑い話もよく聞くよ。あれ？何か僕の苦手なものが混ざってるような・・・。



インド滞在6日目。さすがに疲れがたまってきました。インドの食事が体に合わず、ダウンしてしまうボランティア仲間もちらほら…。僕はインドの食事が合っているのか、全くお腹を壊すことなくモリモリ何でも食べてます。

左上の写真の食事は地元のものではなく、日本人用に作ってくれたごちそう。一緒に食べている仲間は体調不良で顔が少し変わってしまったようだ。

ちなみにヒンドゥー教では神聖な生き物とされている**牛は食べてはいけない**んだよ。また、**食事は右手で行う**んだ。左手は不浄のものとされているから、食事では使わないんだね。

インドでは約8割の人は**ヒンドゥー教**を信じているんだけど、じつは**世界三大宗教はキリスト教、イスラム教、仏教**なんだね。（ちなみに日本は仏教の割合が多い。）



インド大反乱

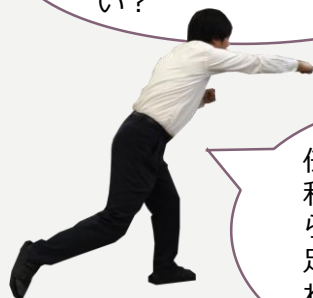
インド滞在7日目。ついに僕は反乱を起こす。ボランティア仲間が体調不良で倒れる中、炎天下の下、僕一人が一生懸命働いて...。「ちくしょーこんなのやってられるか!!」ということで、僕はガンジーにならって「非暴力・不服従」(何もせずにひたすら寝る)の抵抗に出た。

大反乱といえば、**イギリスの植民地支配**にあった1857年、インド人兵士に対する反乱が各地に広まり、**インド大反乱**が起こったんだ。以前はセポイ(インド人傭兵)の乱などと呼ばれていたけど、反乱に関わった人たちが傭兵に関わらず大規模だったことから名称が変わったんだね。

山口学習塾でもいつか樋口・早稲田による大反乱が起こるかもしれないし、起こらないかもしれないよ。



僕たちも山口先生に反乱だ！樋口先生、シバッキー準備はいいかい？



任せろワッセー。私は頭を狙うからシバッキーは足を狙ってくれ！

帰ってプロレス観るんでちょっと今日はムリです。



はっはっは、かかって来なさい！





釈迦（シャカ）

インド滞在8日目。街中で象を見ました。象といえばヒンドゥー教の神様のガネーシャは象の頭を持つ神様。じつは仏教でも歓喜天と呼ばれる象の頭の神様がいるんだ。



ガネーシャ



歓喜天

じつはヒンドゥー教徒が多いインドだけど、**仏教**をつくった**釈迦（シャカ）**はインド生まれなんだ。学校の教科書では釈迦となっているけど、実は釈迦というのは部族の名前。釈迦族の王子として生まれたガウタマ・シッダールタが本名。高校生の世界史ではこっちの名前で覚えるようになるぞ。

仏教とヒンドゥー教、どちらもインド発祥ということで共通点がいくつかある。仏教の経典にはヒンドゥー教の神々が登場したりするんだ。

俺も登場！？

いや、言いにくいんですけど絶対登場しないんで安心してください。



スリランカへ



インド滞在9日目。この日はインドを離れ、隣国のスリランカへ。隣国といってもスリランカは日本と同じで島国なんだ。

スリランカは2009年に内戦が終結し、経済発展する国として注目を集めています。スリランカでの影響力を強めようと駆け引きをしているのが、インドと中国。じつはインドと中国は仲が悪い。1962年には中印国境紛争で武力衝突も起きている。

他にインドは隣国パキスタンとも国境問題などで仲が悪く、三度の戦争（印パ戦争）を行っているんだ。

逆にインドと仲が良い国はどこか？ロシアが仲が良いと言われているね。また、日本もインドの友好国と言われているんだ。友達の少ない山口先生もインドに行けば友達がたくさんできるかもしれないね。

スリランカではバイクで観光する人が結構多いんだ。残念ながら僕はバイクは運転できないから、徒歩で回ったんだけどね。

スリランカに行くって言ってくれれば、私のスーパー三輪車を貸してあげたのに...



旅のまとめ

早稲田先輩がインド旅行で皆に伝えたかったことを私が代わりにまとめましょう。



1日目

- ・ガンジス川はヒンドゥー教の聖なる川であること。
- ・インドでは約8割の人がヒンドゥー教を信仰しているということ。

2日目

- ・インダス文明はインダス川流域で発展したということ。
- ・他に黄河・長江流域の中国文明、チグリス川・ユーフラテス川流域のメソポタミア文明、ナイル川流域のエジプト文明も抑えるべきこと。

3日目

- ・インダス文明ではインダス文字が使用されていたこと。また、のちのカースト制のもととなる身分制度ができたこと。
- ・インダス文明を代表する古代都市はモヘンジョ・ダロである。

4日目

- ・第一次世界大戦後にイギリスの支配に対するガンディーの「非暴力・不服従」の抵抗運動がおこったこと。

5日目

- ・インドの人口は約13億人で世界2位。現在世界1位の中国もいずれ抜くと言われている。
- ・インド・中国ともに小麦・米の生産量が多いが、輸出量は少ない。それは人口が多いので国内で消費してしまうため。

6日目

- ・ヒンドゥー教では牛を食べない。イスラム教では豚を食べない。
- ・世界三大宗教は、キリスト教、イスラム教、仏教。

7日目

- ・1857年...イギリスの植民地支配に対してインド大反乱が起こる。

8日目

- ・紀元前5世紀ごろ、インドにうまれたシャカ（釈迦）により仏教がおこる。

9日目

- ・インドを含む地域はアジア州の中でも南アジアと呼ばれ、インド・ネパール・パキスタンはあたりは受験に備え覚えておくこと。

僕のインド滞在まったく関係ないですよね・・・。



早稲田先輩のインド紀行
定価（本体0円＋税）



※樋口バーコードは通常機器では読み取れません。

早稲田先輩のインド紀行

編集者 山口将志、矢田力椰（株）山口学習塾

発行者 山口将志

発行所 （株）山口学習塾

取材協力 早稲田討色、樋口グループ

第1刷 平成30年4月10日

※本書の無断複写・複製・転載を禁じます。

絶対にインターネット上に流布することは止めてください。

SNSなどで流すと法律上問題になる可能性があります。